



リハビリテーション の仕事

こころとからだの機能回復を通して社会復帰をサポート

リハビリテーションとは、病気やけがによって起こったからだの障がいを可能な限り回復させ、本人の力を最大限に高めて、地域や家庭で自立した日常生活が送れるようにサポートすることです。リハビリテーションの仕事には、対象者の障がいの種類や場所によって、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、義肢装具士があります。いずれの仕事も対象者の情報をしっかり理解し、訓練や指導を行うことが大切です。

職種紹介

理学療法士、作業療法士

理学療法士は、からだの機能に障がいのある方に対して、主に身体の「運動」を通じて筋力の増強や関節の動きをスムーズにするなど運動機能を回復させる運動療法や、マッサージ・電気治療などの物理療法を行います。

作業療法士は、心身に障がいのある方に工作や手芸・家事などの「作業」を通じて、身体機能の回復や維持・予防を図ります。

主な活躍の場

病院、障害者福祉施設、老人福祉施設

必要な資格

- 理学療法士
- 作業療法士

言語聴覚士

言語聴覚士は、失語症や難聴などの言語や聴覚に障がいがあったり、食べ物を飲み込むことが難しい人に対し、専門的な訓練・検査・指導・アドバイスをを行います。

主な活躍の場

医療機関、福祉施設、リハビリテーションセンター等

必要な資格

- 言語聴覚士

視能訓練士

視能訓練士は、斜視や弱視など見る機能に障がいがある方の検査を行って治療に必要なデータを伝えたり、見る機能を回復するための矯正訓練などを行います。

主な活躍の場

医療機関、保健所、学校

必要な資格

○ 視能訓練士

義肢装具士

病気や事故などで手や足などを失った人のために、それらの機能を補う義肢や、身体の間どこかが障がいによって機能しなくなった場合、その回復をさせたり、補ったりするための装具をつくります。例えば足の場合、その方が装着する場所のサイズを測り、型を取り、部品を組み立て、使用テストをして仕上げというのが仕事の流れです。

主な活躍の場

民間の義肢製作会社

必要な資格

○ 義肢装具士